

集団接種事業協力者の皆様へ
「注意喚起」

令和5年12月5日

平素は甲府市における新型コロナウイルスワクチン集団接種事業にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、このところアクシデント報告もあまり無く落ち着いていましたが、12月3日のワクチン接種会場において、薬液が全く入っていないシリンジが看護師さんに渡ってしまうという事象が発生しました。

最終監査時に、バイアルに普通より薬液が多く残っていたことから、0.5ml採れているか、シリンジの肩先等に空気は多く残っていないか、本数は5本あるかなどに集中して、複数の目でそのパッドのシリンジを確認したということですが、薬液がまったく充填されていないシリンジがあるとは考えていなかったとのことでした。

集団接種事業を始めたごく初期にはこのような事例は数例ありましたが、これはシリンジを半回転させ目盛の数字が大きく見えるかをチェックすればわかることです。

また、薬液がまったく充填されていなかったということは、採取者が充填時に針先が薬液に接触していることの確認を怠ったためだと思えます。

この確認は怠らないでください。

ワクチン接種事業も12月16日、17日の2回をもって終了となります。

初心に返り、予防接種する方のことを想い、事故無く有終の美が飾れますよう皆様の更なるご協力をお願いします。

(公社) 甲府市薬剤師会
会長 植松 俊彦